

科目番号	科目名			英語名		
HE30033	臨床薬理学実習			Practice of Clinical Pharmacology		
標準履修年次	単位数	開設学期	曜日	時限	使用教室	
3年	1単位	秋学期A	水曜日 木曜日	4・5時限 3・4時限	4B112	
担当教員（研究室・連絡先・オフィスアワー）						
大林 典彦（健康医科学イノベーション棟 304号室、TEL：3287、オフィスアワー：随時）						
船越 祐司（健康医科学イノベーション棟 304号室、TEL：3115、オフィスアワー：随時）						
橋本 幸一（E棟2階、TEL：7945、オフィスアワー：随時）						
学習目標						
実習を通して、生体機能を体験するとともに、薬物の作用機序を考察し、理解する。また、今まで学んできた基礎薬理学の原理を踏まえて、臨床医学における薬物療法の理論と実際について学習する。実際に、臨床試験を実施する際のプロセスをグループ学習、ロールプレーにて経験し、医薬品開発における臨床試験の重要性を理解する。						
使用言語（ <input checked="" type="checkbox"/> してください）： <input type="checkbox"/> 日本語・ <input type="checkbox"/> 英語・ <input checked="" type="checkbox"/> バイリンガル						
	日程	担当教員	授業概要			
1	10/3	大林 典彦 船越 祐司	試薬の調整方法と実習講義、試薬作製			
2	10/4	大林 典彦 船越 祐司	インスリンとエピネフリンの血糖値への影響—1			
3	10/10	大林 典彦 船越 祐司	インスリンとエピネフリンの血糖値への影響—2			
4	10/11	大林 典彦 船越 祐司	アドレナリン受容体アンタゴニストの作用機序—1			
5	10/17	大林 典彦 船越 祐司	アドレナリン受容体アンタゴニストの作用機序—2			
6	10/18	大林 典彦 船越 祐司	実験結果のまとめと考察			
7	10/24	橋本 幸一	医薬品開発プロセス			
8	10/25	橋本 幸一	臨床試験のプロトコールと実施のプロセス			
9	11/1	橋本 幸一	臨床試験におけるインフォームドコンセントについてのロールプレー—1			
10	11/7	橋本 幸一	臨床試験におけるインフォームドコンセントについてのロールプレー—2			
単位取得要件	医療科学類開設の実習科目に共通する単位付与必須要件：1) 2/3以上の出席、および、2) 実習で課されたレポート提出と各C以上の評定。					
使用教科書・教材	プリント					
成績評価	実習態度およびレポートの評定に加えて、個別科目においては試験によって評価されることがある。この科目は【レポートと実習への取り組む姿勢】によって評価する。					
備考：グループ実習であるが、全員が実習に積極的に参加し、生体機能を実感するとともに、医薬品開発における臨床試験の重要性を理解することを期待する。						